

5	4	3	2	1	4	3	1	④	①
ウ	食 ----- べ ----- も ----- の	②	A	1 孝	ア	A	I	野 犬	千 羽
		ウ	エ	使	2	エ	三		
		③	B	孝	イ	B	II		
		ア	ウ	ぼ	1	イ	二		
			C		ウ	C	2	中 止	②
			イ		1	ア	忍 ----- 者	高 まる	
								中 止	③
									地 元

配 点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
<計>100点	

- 1 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①の「千」を「干」と書かないように、また「羽」の形にも気をつけよう。②「高」は「高い」のほかにも「高める」「高み」「高まる」といった使い方があある。③「地」には「ジ」と「チ」の二つの音読みがあることを覚えておこう。④「野犬」は「野良犬」ということもある。⑤「止」は書き順も覚えておこう。「たて↓よこ↓たて↓よこ」の順になる。

2

- 1 I 「ここよりあとの本文中からさがし」という条件を見落とさないように気をつけよう。動物がぜつめつする心配がなくなることでミルク不足にならないことに加えて、医学などで役に立つこともあげられているので、全部で三つになる。
II こちらも問いの条件を見落とさないようにする。(B)のあとに「さまざまな問題があるからです」とあるので、その次を見ていくと、「さべつ」と「安全」性の二点が書かれていた。
2 クローンの分身をつくってふえる「細菌」をたとえたことばをさがす。「分身」するものである。
3 A (A)の前でふれられている「人や動物は、クローンをうみません」ということの結果としておこなわれていることを(A)のあとで書いているので、エ「そこで」がはいる。
B (B)の前に「人のクローン」をうみだすことのプラス面が書かれていて、(B)のあとに「人のクローン」はまどうまれていないと書いているので、イ「しかし」がはいる。
C (C)の前後で「人のクローン」をうみだすことのない点をならべて書いているので、ア「それに」がはいる。
4 ア 「細菌」や「シロアリの女王」はクローンをうみだすので本文の内容にあわない。
イ (B)のすぐあとに書いている。
ウ 「ヒツジ」「ウシ」「サル」「ネズミ」のクローンはうまれている。

3

問題作成の都合上、本文の表記を一部変更しています。

- 1 「まずしさがわかるもの」だから「古い」「傷んでいる」といったものだと見当をつけてさがしていくと、本文の「ばち当たりなことを……」ではじまる段落に「使い古しの笠」と「ぼろぼろの手ぬぐい」が見つかる。
2 A ここよりあとの本文中に「雪」が出てくるので、そこから考えればよい。
B 「胸がいたむ」は悲しみや悩みなどでつらく思うこと。「心痛」ということばも覚えておこう。
C 「山のように」は数量がきわめて多いことをあらわす。
3 ② 食べるものがなくなってしまうので町で笠を売り、買おうと思っていたのに、笠がほとんど売れなかったときの気持ちなので、ウの「がっかりしている」がよい。
③ おじいさんは「もしかして寒いのではないか」と思い、笠をかぶせてあげようとしたのだが、ここよりあとの内容から考えると、この六体の地蔵は仲が悪かったと考えられるのでアの「きげんが悪い」がよい。
4 おじいさんが何の話をしたかは、今日のおじいさんの行動からわかる。「食べものが買えなかったこと」と「お地蔵さまをこわしてしまったこと」である。
5 手ぬぐいをかぶったお地蔵さまがおじいさんに頼んだことである。『アト二体モ』とあるので、おじいさんが三体の地蔵にしたことを残りの二体（踏みつぶしていない笠をかぶせた地蔵と自分がかぶっていた使い古しの笠をかぶせた地蔵）にもしてほしいという依頼になる。「なおす」なら『アト三体モ』となるはずである。問3③で考えたようにこの六地蔵は仲が悪かったのである。扉の前に積まれていたものはその代金代わりということだろう。